



▲デンマークで経験した体験を発表する生徒たち

10月14日(金)、市民会館で『平成28年度登別市友好都市中学生派遣交流団帰国報告会』(市主催)を開催しました。

8月12日(金)から19日(金)まで登別市の友好都市デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市を訪問した中学生派遣交流団の生徒たちが、派遣中に学んできたことを自身の体験談を交え、一人ずつ発表してくれました。

他国との交流で刺激を受けた参加生徒たちは、「今まで経験したことのない、新しいことに挑戦していきたい」と、決意を新たにしています。

それぞれの『思い』を発表

10/14

まちの新たな一面を発見

平成28年度市民見学会

9月30日(金)、市内の施設などを見学する『市民見学会』(市主催)を開催しました。

同見学会は、施設の見学を通じて市政に対する理解を深めることを目的に、毎年行っています。

今年は天候にも恵まれ、参加者の市民6人が、日本工学院北海道専門学校、最終処分場などの施設を見学したほか、カント・レラで勾玉まがたまを制作し、大湯沼川の天然足湯を楽しみました。



▲天然足湯を楽しむ参加者

参加者は、「名前は聞いたことがあっても、初めて行く施設が多く、とても勉強になりました」と話していました。

9/30

市バスにPRキャラクターをデザイン
10月12日(水)、市役所で、市PRキャラクター『登夢くん』が描かれた市バス2台を披露しました(市主催)。

デザインを手がけた日本工学院北海道専門学校のCGデザイン科2年生の穂吉玲奈さんは、「登夢くんの表情にこだわりデザインしました。市バスに乗った方や見た方が楽しい気持ちになったださるとうれしいです」と話してくれました。

市バスは、市の事業で市民の送迎や市外から視察などに訪れる来訪者の案内時などに利用します。

10/12



▲市バスのデザイン完成を喜ぶ穂吉玲奈さん



▲姉妹都市交流発展の思いを込め、記念植樹を行う視察団

10月13日(木)から15日(土)にかけて、姉妹都市である神奈川県海老名市から、海老名市民視察団ら55人が登別市に訪れました(海老名市都市間交流協会主催)。

この事業は、都市間交流の一環として平成23年から行われており、今年、平成27年に新たに誕生した登別版ご当地グルメ『登別閻魔やきそば』を食べたほか、登別地獄谷や大湯沼川天然足湯などを視察しました。

14日(金)には、札内町にある『交流の森』でヤエザクラとエゾヤマザクラの苗木6本を植樹。桜の成長とともに、姉妹都市交流がますます発展していくことに期待を込めました。

10/13~15

姉妹都市からの来訪

海老名市民視察団『平成28年度登別市市民視察』